

ときわの島 いぜな



伊是名村

議会だより

No.
171

発行 2021年9月

特集「予算の使われ方を一部拝見！」
第2回定例会議決結果一覧
一般質問ダイジェスト
特集「伊是名村議会の歴史」
わたしの好きな伊是名島！
子ども議会と傍聴の案内
キラリ★いぜなっ子
議会の動き・議長のつぶやき・編集後記

2～3
4
5～8
9
10
10
11
12



旬の花

キキョウラン

島の思い
天まで届いて
雨あがる



第18回 幼小中合同運動会

(令和3年6月27日(日)開催)

われ方を一部拝見！

電動三輪車等 購入費の補助  75万円 満65歳以上の免許を有しない方、 返納した方、下肢障害のある方が 電動三輪車を購入する際の購入費の5割、 上限15万円を補助	長寿祝い金 18万円  100歳 …… 3万円 カジマヤー … 1万円 トーカチ …… 5千円	介護保険事業 7940万円 食の自立支援事業・介護用品給付事業・ 願寿サロン公民館事業・通所入浴サービス・ 生活支援体制整備事業・百歳体操支援事業など
離島高校生 修学支援事業 672万円 村出身の高校生を対象に通学費、 移住費の一部を支援	放課後子ども教室 推進事業 52万円 小学生対象の放課後の居場所づくりのため の教室の開催・バレー・バスケ・サッカー・ 各字子供会などへ交付	銘苅家・名嘉家 旧蔵品修復復元事業 1800万円 村指定文化財の修復、復元事業
中山間地域等直接支払交付金 1579万円 伊是名地区集落 協定へ交付 (農地の維持・集落の維持等) 多面的機能支払交付金 1572万円 農地・水・環境保全 管理協定運営委員 会へ交付	さとうきび優良種苗 安定確保事業 58万円 JA伊是名支店へ委託 (さとうきび原原種の導入)	漁業再生交付金 258万円 伊是名漁業集落へ 交付 (アーサの養殖・シヤコ貝の放流等) 水産多面的機能発揮対策事業 60万円 いぜん島のさんご礁を 愛する会へ交付 (さんご礁の保全活動)
道路等整備事業 1億722万円 南風原線・潮平間線・チチン線・上仲田線・ サトモ線の道路等整備事業	定住促進住宅整備事業 1600万円 仲田2号棟、内花1号棟の付帯工事費用	海岸漂着物等地域 対策推進事業 348万円 村海岸の良好な景観保全、環境保全、 維持活動・回収ゴミの島外処理、運搬費用
観光地等 クリーンアップ事業 5551万円 観光地としての景観形成のため観光施設等の 草刈りや花植えを行う美化活動	伊是名村景観条例 伊是名集落のクシヒン(後辺)を重点 地域とし、建築物等の高さをフクギを越 えない高さとしたり、景観との調和、保 全等の景観形成基準を設けています。 他集落においても共通基準として周 辺環境、景観との調和を求める条例が あるんですよ！	地域応援プレミアム付 商品券事業 2743万円 地域経済の活性化を目的として プレミアム付商品券を販売
コミュニティー 助成事業 261万円 各集落のコミュニティー活動に必要な 備品等の整備費用	島独特の景観は、 村民の財産です。 保全に努め次世代へ 受け継ぎましょう。 	沖縄らしい風景づくり 推進事業 (景観形成活動など) 100万円 景観形成活動団体への助成など

令和3年度
予算総額
**38億
5811万円**

一般会計予算
**28億
6406万円**

特別会計予算
**9億
9405万円**

●歳入・歳出とは・・・村における収入と支出のこと
●予算は「一般会計」と「特別会計」に分けられます。
●一般会計には「議会費」「総務費」「民生費」「衛生費」「農林水産業費」「商工費」「土木費」「消防費」「教
育費」「災害復旧費」「公債費」「諸支出費」「予備費」の13項目に細かく分けられ、村民のより
良い生活のために運用されます。
●特別会計とは、特定の事業や資金を運用する等の目的で、一般会計とは区分して設けられた会
計のことをいいます。

※金額は全てその事業の総額です

令和3年度 当初予算の使

令和3年度
一般会計予算
に定める割合

議会費

総務費
26%

民生費
12%

衛生費
8%

農林
水産費
12%

商工費

土木費 6%

消防費

教育費
20%

公債費
10%

諸支出金

じゅうみんふくしか 住民福祉課

村民の生活福祉に係る部署

村民の健康維持管理、児童福祉、生活福祉支援事業・高齢者、障害者、母子等の各生活支援事業

子ども医療費助成事業

391万円

村に住所を有する0歳から18歳*までの子どもの医療費を全額負担（現物支給・窓口支払いなし）



児童手当・特例給付

2337万円

中学校卒業までの児童を養育している世帯へ児童の年齢、人数に応じた手当の支給・所得制限限度額以上の世帯への月額一律支給

きょういくしんこうか 教育振興課

学校教育や社会教育の環境整備

児童、生徒の学力向上と教育環境等の支援・村内遺跡、重要文化財の調査、発掘、保存管理など

小学校校舎改築事業

3億6350万円

小学校校舎建設（令和4年度まで継続実施）

学習支援事業

3287万円

無料の村営塾の開設（中）尚円チャレンジ塾（小）まちがに塾・学校への学習支援員の配置

のうりんすいさんか 農林水産課

農・林・水産業の振興業務

農用地の利用計画、担い手育成、再生支援事業・農地、漁場等の整備、害虫防除など

優良繁殖牛導入事業

800万円

優良繁殖雄牛購入費用の50%助成（上限40万円）

農業次世代 人材投資資金事業

600万円

新規に就農される方に助成金を交付・年間150万円（対象45歳未満）



けんせつかんきょうか 建設環境課

社会基盤等環境整備・新設・維持管理

村道、橋梁、河川、墓地、村営住宅等の新設、改良、維持管理・産業廃棄物やゴミなどの生活環境管理業務等

沖縄簡易水道等施設整備費

1億5600万円

老朽管の管路更新と耐震化を行い、安全で安定した水道水の供給と災害にも対応できる水道環境を整え、水道事業体の健全な経営維持を目指す

村営住宅 修繕費

480万円

村営住宅21棟・58戸にかかる修繕費用

しょうこうかんこうか 商工観光課

商業活性と観光誘客・施設管理

離島フェアなどの島外出向宣伝・メディアPR・祭等開催による商業活性と観光誘客の取組み・その施設の管理・整備等

子育て環境づくり 整備事業

7098万円

臨海ふれあい公園内に遊具及び健康器具の設置を行う

自動車航送コスト 負担軽減事業

1254万円

島民に対し、フェリーの自動車航送費の支援を行う

きかくせいさくか 企画政策課

村政運営の総合計画策定と総合調整

総合計画の策定、施策の総合調整、政策課題の調査、研究・過疎計画・伊平屋伊是名架橋・定住促進等

〈移住・定住促進事業〉

出産祝い金

100万円

健やかな成長を願い出産祝い金 1子10万円

〈移住・定住促進事業〉

結婚祝い金

100万円

新しい人生のスタートを祝福し結婚祝い金 1組50万円





令和3年 第2回伊是名村議会定例会 議決結果一覧

令和3年第2回伊是名村議会定例会は、6月9日～10日までの2日間で開催された。本定例会に提案された議案は13件で、うち承認2件、報告2件、一般質問には4名の議員が登壇し村政について質問した。議事結果は次の通りです。

議案番号	件 名	議案等の概要	議決の結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (伊是名村税条例)	伊是名村税条例の一部を改正する条例の専決処分	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(伊是名村 固定資産税の課税免除の特例に関する条例)	伊是名村固定資産税の課税免除の特例に関する 条例の一部を改正する条例	承認
報告第1号	令和2年度伊是名村一般会計繰越明許費繰越計 算書の報告について	令和2年度伊是名村一般会計における10事業の 繰越要因とその計算書の報告	報告
報告第2号	令和2年度伊是名村簡易水道事業特別会計繰越 明許費繰越計算書の報告について	令和2年度簡易水道事業特別会計における1事 業の繰越要因とその計算書の報告	報告
議案第23号	令和3年度伊是名村一般会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ9,948千円を減額し、予算の 総額を歳入歳出それぞれ2,854,110千円とする	原案可決
議案第24号	令和3年度伊是名村国民健康保険特別会計補正 予算(第1号)	歳入歳出それぞれ1,149千円を減額し、予算の 総額を歳入歳出それぞれ247,163千円とする	原案可決
議案第25号	令和3年度伊是名村簡易水道事業特別会計補正 予算(第1号)	歳入歳出それぞれ3,103千円を減額し、予算の 総額を歳入歳出それぞれ242,404千円とする	原案可決
議案第26号	令和3年度伊是名村農業集落排水事業特別会計 補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ2,000千円を追加し、予算の 総額を歳入歳出それぞれ68,605千円とする	原案可決
議案第27号	令和3年度伊是名村船舶運航事業特別会計補正 予算(第1号)	歳入歳出それぞれ10,000千円を減額し、予算の 総額を歳入歳出それぞれ392,456千円とする	原案可決
議案第28号	伊是名村総合計画審議会条例の一部を改正する 条例	第4次総合計画の評価及び審査、新たな計画策定 に伴う委員の人数等の改正を行うための条例の 一部改正	原案可決
議案第29号	伊是名村固定資産評価審査委員会条例の一部を 改正する条例	行政手続の抜本的見直しにより、押印不要等の村 民負担軽減を図るための条例の一部改正	原案可決
議案第30号	伊是名村国民健康保険税条例の一部を改正する 条例	地方税法施行令の一部を改正する政令の改正に 伴う、伊是名村国民健康保険税条例の一部改正	原案可決
議案第31号	工事請負契約について	伊是名製糖工場季節工員宿舍新築工事の請負契 約の締結 株式会社 明成建設 代表取締役 知念 章 契約金額 ￥117,700,000	原案可決

令和3年 第2回伊是名村議会臨時会 議決結果一覧

令和3年第2回伊是名村議会臨時会は、7月30日の1日間で開催された。

本臨時会に提案された議案は4件で、うち発議1件です。議事結果は次の通りです。

議案番号	件 名	議案等の概要	議決の結果
議案第32号	令和3年度伊是名村一般会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ9,681千円を追加し、歳入歳 出予算の総額をそれぞれ2,863,791千円とする	原案可決
議案第33号	工事請負契約について 「伊是名小学校校舎改築工事」	伊是名小学校校舎改築工事 工期 令和3年8月4日～令和5年3月6日 請負代金 ￥844,580,000 受注者 上門工業株式会社 代表 上門 信孝	原案可決
議案第34号	工事請負契約について 「村道南風原線道路整備事業(R3-1)」	村道南風原線道路整備事業(R3-1) 契約金額 ￥51,700,000 受注者 有限会社 タカラ建設 代表 高良 富三	原案可決
発議第4号	今帰仁村道湧川運天線の県道昇格を求める要請 決議	今帰仁村道湧川運天線の県道昇格による道路整 備を要請。道路の安全制と物流の向上、接続主要 観光地等への利便性の向上等を図り、離島2村と 北部振興を期待し求める	原案可決

Q 集落の石垣の修復



みやぎ よしひで
宮城 義秀 議員



視察の様子

Q 宮城義秀議員

本村では、「伊是名村景観条例」を制定し村並み保存に取り組んでいますが、全集落が対象となっている景観形成活動（集落の清掃）にとどまり石垣の修復、保全活動等にはほとんど利用されていません。石垣の修復、保全活動が進まない大きな要因は、個人で申請をしなければならないこ

と。本村は不在地主が多く助成制度が理解されていないため申請まで至らないのが、一番の原因と思われる。

個人で申請するのではなく清掃活動同様に、集落で行うように見直して年度ごとに整備すれば、美しい村並みが保たれ村の発展につながると思います。村長の見解を伺います。

A 前田政義村長

集落の石垣修復と景観形成の推進にあたっては、行政だけで取り組めるものではなく、地域住民と一体となった共同の取り組みが必要不可欠です。

地域住民等の主体的な景観づくりを促進するための助成金制度を平成26年度に創出していますが、当該地主に対しての周知広報を図るなどの支援制度の啓発が十分ではないことが起因して、制度の有効活用がされていないのが現状であります。

今後におきましては助成金制度の検証を行い、運用改善等を検討しながら、効果が十分に発現できるよう魅力ある

景観づくりを推進していきたいと考えています。

Q 宮城義秀議員

補助金交付要綱が平成27年度から設置されていますが、実際に交付された年度には3つの交付の制度があったと思います。その各々が何件ずつ実際に利用されているのか、実績を教えてください。

A 前川栄進企画政策課長

景観形成活動ということで、団体助成が平成26年度に2件交付して、それ以後は5件と現在まで続いております。

一方、景観形成の赤瓦と石垣の補助金については、平成28年度に赤瓦助成が1件あつて、石垣の助成については、いまのところ実績はございません。

Q 宮城義秀議員

景観形成にあたって、本村では制度づくりをやってきましたが、うまく利用されていないと思います。制度の見直し等について、企画課長からの意見をお願いします。

A 前川栄進企画政策課長
景観形成助成交付要綱

の見直しについては、利用しやすい形にしていけば推進しやすいと思っています。早急に見直しに取り組んで精査しながら、今年中には何とか進めていきたいと思っております。

Q 宮城義秀議員

伊是名村には勢理客と伊是名に美しいサンゴ礁の石垣が残っていますが、保存状態が悪く、年々崩れています。村長の報告書にありますように、次の世代に残すべき貴重な文化財だと思っています。ぜひ早急に対応いただきたいので、再度村長の意気込みをお伺いできますか。

A 前田政義村長

平成4年に教育委員会で公民館の前の通りから内側、いわゆる内村を特別地区にして、村並み保存地区指定にしようという提案を進めてきた経緯があります。私たちもぜひ残された資源を大事にして後世に伝えていきたい。要綱等を見直しながら、早急に対応できるように努力をしていきたいと考えています。



県道178号線(通称:仲田・伊是名線) 及び村内道路沿いの景観対策



なか た まさ む
仲田 正務 議員



県道178号線

Q 仲田正務議員
県道178号線(通称:仲田・伊是名線)は、仲田港と伊是名集落を結ぶ唯一の幹線道路であり、周辺には小・中学校及び役場、郵便局、その他多くの公共施設が点在しています。東道と呼ばれるこの道路は郷友の皆様、観光客も通

る道路で、以前は前方に屋那覇島、沖縄本島及びコバルトブルーの海が見られたが、現在モクマオウ等の木が県道沿いに生い茂り、以前のような絶景な景色が見られず景観を損ねている状況です。

又、この道路の周辺にある水田周辺もギンネムや雑木等が生い茂り、せつかくの景観を損ねています。村長は、令和元年7月1日の「村政施行80周年記念事業」の一環として、県道沿いに歌碑の建立を行いました。この歌碑の中には以前の風景が描かれ、非常にきれいだと感じました。せつかく歌碑を建立しましたので、伐採処理を行って以前の風景に少しでも近づけるようにするのが、観光の一環になると考えます。

このような場所が他にないか村内を調査し早急に対処することが、郷友の皆様と観光客に非常に美しい島だと感じてもらえると考えておりますが、いかがでしょうか。村長の見解をお願いします。

A

前田政義村長

県道178号線は、仲

田港を起点に伊是名集落まで延びる総延長2・7キロメートルの村の主要幹線道路の一つです。本線は物流や通学路としての役割を担うほか、銘荊家や神アサギ等の貴重な文化遺産へのアクセスに欠かせない観光道路としての役割も担っています。

歌碑も建立しましたし、この周辺をぜひ観光また文化の村として多くの方々に楽しんでもらうためにも、維持管理をする県土木事務所と調整します。そして連携しながら、モクマオウ等の伐採・撤去に取り組んでいきたいと考えております。

Q

仲田正務議員

村長の行政報告の中にありました4月20日、本村建設業協会西会長より、令和3年度からの地域活動について、公共施設等の維持管理への協力の取り組みとして、排水路等の土砂上げ、モクマオウ・雑木伐採等々が要望書の中に盛り込まれていますので、早い時期に要請した方が良いのではないかと思います。

7月から9月となりますと新年度の工事も発注され、定期的に暑い中での作業となり、熱中症の心配もありますので、早急に要請をお願いします。

また、県道の維持管理については建設課長に伺います。

A

末吉長吉建設環境課長

村長の答弁にございましたが、議員質問の通告があり、北部土木事務所と即調整に入りました。はつきりした結果はまだですが、毎年いただいております委託金を活用していきたいと考えております。ただそれには条件がございます。まして、道路敷あるいは土地の境界といった辺りを確認・調整しながら、伐採に取り掛かっていければという考えです。

先程、議員からご提案がありました。村の建設業協会さんからの活動支援という要望も承っております。そこも視野に入れながら、できれば早く景観の良い県道の維持に努めていきたいと思っております。

農業の振興

Q1 農地流動化への推進及び相続登記義務化への支援

Q2 農地「土壌分析週間」土づくり強化対策



伊礼 正徳 議員

Q1 伊礼正徳議員

国は所有者不明土地問題の解消に向けて相続登記義務化を政令で予定しています。未相続は農地担い手事業影響、相対売買の移転もできずトラブルが聞こえる既登記が進めば課題の解消に期待されます。

(1) 村の土地所有者数と不在地主数、未相続数を伺います。

A 諸見直也総務課長

総所有者数約1800名、不在地主数約700名、未相続数約4割(約700名)となっています。

Q 伊礼正徳議員

(2) 未相続は農地流動化に影響を及ぼしていると推測されます。相続人が権利義務を承継する登記に意欲出せる支援対策の検討の見解を伺います。

A 前田政義村長

従来から地権者からの問い合わせがあるとき相続登記の手続き等費用的にも説明しています。その形で促していくことが流動化に資すると考えております。

Q 伊礼正徳議員

担い手事業推進への支障と未相続の影響を伺います。

A 前田秀光農林水産課長

新規就農は二、三年に一人です。農地幹旋するには不在地主、未相続が多数で、親戚が預かっていることが要因であります。

Q 伊礼正徳議員

農地幹旋事業などスムーズにできるよう、未相続者に一日も早く相続登記ができる意欲を出せるような手助けとなる事業等の発想はないか伺います。

A 前田秀光農林水産課長

個人的財産権を侵さない範囲で一括交付金を活用してできないか検討はしています。まだ事業化はしていませんが、お手伝いはしたいと思っています。

Q2 伊礼正徳議員

農産物の増産は村土づくり支援事業の投入効果が発現していることは高く評価されています。農家は特にキビ増産目標に向けて栽培技術の普及研修等も実施されています。しかし、土壌分析には殆ど活用されていないと聞きます。土質診断結果による土づくり改良で地力増強につなげば、さらに増産で所得向上も見込まれます。農家支援策の見解を伺います。

A 前田政義村長

これまでの農家支援策として優良繁殖牛導入補助、堆肥購入補助、病虫害防除助成、優良種苗導入補助等々行っています。土壌分析については毎年実施するにあたり周知はしていますが、応じていただける農家が非常に少ない現状でございます。今後関係団体と協力して分析の推進に努めて参りたいと考えています。

Q 伊礼正徳議員

過去三年間で土壌分析を受けた農家件数を伺います。

A 前田秀光農林水産課長

毎年の申請はゼロです。行政側から促しての分析は約20名程度です。

Q 伊礼正徳議員

土地改良整備後、元の表土に戻るのが、当時は約10年かかるというわれ、農家は殆ど分析を行って診断結果により改良剤の投入等も行って地力増強に努めていました。現在、分析を受けない原因はなぜか伺います。

A 前田秀光農林水産課長

化成肥料で3要素の年間分は畑に投入できるということで、要素の不足が発生するとは考えられないので。例年どおりの反収を受けることで、あえて土壌分析は受けていない可能性があります。

Q 伊礼正徳議員

過去30年間でキビ生産目標二万五千トに達したのは4回である。土壌分析週間を活用推進して土づくりに力を入れ地力増強することで、さらに反収増産につなげば目標達成も目前と見ています。今年の分析実施予定と通年受付は可能か伺います。

A 前田秀光農林水産課長

今年は6月後半を予定しています。定期的分析期間以外にも本人の依頼があれば、JAや農業改良普及駐在員と相談しながら実施したいと思っています。



Q 内花区宿泊交流施設 整備の早期実現



まえだ きよし
前田 清 議員



内花集落センター（内花公民館）

Q 前田清議員
内花区宿泊交流施設整備の早期実現について。これまで幾度となく整備が出来ないかと質問してきましたが、「どの事業でできるか検討していきたい」という回答でした。

そのことについて、村長の政策からすると施設整備が図れる時期はいつ頃になるのかなど、具体的な進捗状況を教えてください。

A 前田政義村長
本施設の事業化に向け

て、平成28年度から一括交付金を活用して基本設計を実施しています。

翌29年度において一括交付金の特別枠を活用し実施設計、建築工事と予定をしていましたが、未採択となり、その後のメニュー検討で北部振興事業、離島活性化事業を活用して事業化を目指すも採択できず、現在に至っています。

今年度は、令和4年度の新規採択地区として農林水産省の事業メニューを活用し、事業採択できないか県と調整をしています。採択の可否については、令和3年8月頃に県の判断が下されることになっています。

Q 前田清議員
28年、29年と基本設計までのぼりつめて区民も喜んでいましたが、実施に至っていない。どのメニューが一番早くできそうなのか、説明していただけますか。

A 前田秀光農林水産課長
昨年北部振興事業で再エントリーをしています。

8月の採択の可否については、農村集落基盤再編・整備

事業という農水省のメニューがあり補助率が85%、地元の補助率が15%という事業でエントリーをして、何度かヒアリングをしているところであります。その経緯と今後の予定を申し上げたいと思います。

今年の2月に1回目の事業ヒアリングを行い、2回目6月、3回目8月。その月ないし、翌月前半には県の判定会で議論いただいて、採択するか否かの判定を下すという予定になっています。

Q 前田清議員
実際に見込みはありそうですね。今年8月の採択の見通しと手ごたえ、村長の本音を教えてください。

A 前田政義村長
農林水産省の事業、北部振興事業共に厳しかった経緯があります。しかしながら地域の方々の強い要望もありますので、何とか採択させて実現させたいという思いを込めて、農林水産省の事業でいまは取り組んでいます。

8月の可否については明言はできませんが、実現に向けて一生懸命努力をしていきます。

Q 前田清議員
訴え続けてもう9カ年になるかと思いますが、村長含め職員も網羅して、いち早く採択の実現に至るよう頑張りたいと思います。

最後に、副村長は地元で建設委員会だったと記憶しています。業務以外でも職員にアドバイスやサポートをしているのかなど、どのようにお考えか聞かせて下さい。

A 奥間守副村長
内花区宿泊交流施設の建設は、長年、要望があっても実現していないことに心を痛めているところです。

区民として私も委員会に参加したことがあり、早く実現してほしい思いもあります。業務としては、担当課中心に試行錯誤しながら取り掛かっていますが、なかなか採択要件にマッチしないことで現在に至っています。

今後も職員をフォローしながら、協力して頑張っていきたいと思っています。



伊是名村議会の歴史

分村からはや80年を超えた今、この石碑の意味や歴史を知る人も少なくなってきた。この石碑に書いてあるように伊是名村はかつて、現在の伊平屋島と伊是名島（周辺無人島含）で「(旧)伊平屋島」であり、その当時の番所・事務行為を行う場所がこの石碑の場所であった。さて今回はこの場所から議会の歴史をたどってみたいと思います。



字伊是名アガリファナクにある番所跡の碑

今から154年前の1867年。徳川慶喜が大政奉還したことを受け翌1868年に年号が「明治」と改められた。明治維新である。その4年後の明治4年に廃藩置県となり、明治12年に沖縄県が誕生し、翌年、明治13年に沖縄県は行政区画を那覇、首里、中頭、国頭、伊平屋、久米島、宮古、八重山の9区としそれぞれの地域に役所を置き事務処理をさせた。このときに伊平屋村役所が設置され、場所は伊是名島伊是名村の小字名アガリファナクにあった旧 間切番所（王府時代の地方役所）が充てられた。

明治16年から明治30年までこの「伊平屋島番所」で現伊平屋島と現伊是名島の行政事務処理が行われていた。

後の明治40年。沖縄県及び島嶼町村制が公布され、伊平屋島は伊平屋村へ、島長は村

長へ、伊是名村は字伊是名など集落は字〇〇に変わった。

その際に村会が設置され、今から112年前の明治42年4月、伊平屋村会、初の議会議員選挙が行われたのである。議員定数は14名であった。

さて、この伊是名番所はかつて旧間切番所（王府時代の地方役場）だったとあるが、やはり尚円が琉球王朝中山王になったあと出身地（現）字伊是名にあった役所を「伊平屋島」の役所にしたと考えられている。それ以前の所在地の記録はないが、現段階で確認できる範囲においても、現在の字仲田に移転する前までの約600年、またはそれ以上、字伊是名で行政事務行為が行われたことがわかる。

また、今からちょうど90年前の昭和6年（1931年）に現在の農業協同組合の建物敷地に伊平屋村役場は新築移転された。しかし現伊平屋村にとって村役場が伊是名島にあるとあらゆる点で不便であるとし、昭和12年頃から分割運動が起こり、昭和13年に通常村会において分村案を正式に議決。翌年の昭和14年（1939年）5月23日、内務省指令で分村を許可。

同年7月1日、「伊平屋村」を分ち「伊是名村」と新「伊平屋村制」が施行されたのである。2021年においてはこの分村から、実に82年となる。



昭和45年まで使用されていた伊是名村(旧伊平屋村)役場／現JA伊是名支店

役場が字仲田に移転して早90年の歩みとなりました。当時の先人達の大きな岩をも動かす努力が、現代において実現、反映されている、まさに想いや熱意の魂が、未来の島で生きていきます。現代の私たち伊是名村議会も、更なる向こう90年のための良き議決がなされる場となるよう村民、村政とより強く手を取り、精進して参りたいと思います。

令和3年 伊是名村議会

わたしの好きな伊是名島！

伊是名島の写真
大募集!!

県内のどの海にも負けていない
伊是名の広大なサンゴ礁



枝サンゴやテーブルサンゴが多く群生するばら園

5年前に字伊是名に移住してきた松村さんご夫婦。古民家を自ら改装し、店舗兼自宅として夫婦でダイビングショップを営んでいます。移住して当初、島のダイビングスポットを調べるために、旦那さんは海中へ、奥さんは船長として船を併走させ二人で島を一周し、探索したそうです。ばら園もその際に発見したポイント。名前の由来は、更に深く潜った水深18Mにバラのような形をした珊瑚(リュウキュウキッカサンゴ)が群生しているので通称ばら園と名付けたそうです。島の海の中の素晴らしいさを島の人にも見てほしいと今回応募してくれました。

今年ももうすぐ

こども議会

があります！

令和3年10月予定！

伊是名村議会議事堂にて
(伊是名村役場2階)

傍聴可

伊是名村では令和元年度から「こども議会」を行っています。例年、中学3年生によって行われ、事前に実際の議会傍聴や、議員との勉強会、先生方や地域の方々と自分で考えた質問の現地調査や調査に基づいた答弁の仕方などを組み立て、当日、村長ならびに村執行部と対峙します。

つきましてはご家庭や地域においても、こども議会に取り組む生徒たちへの協力と応援を宜しくお願い致します。

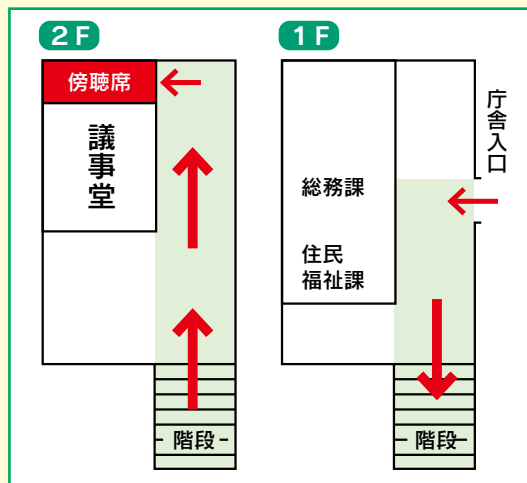
傍聴ってどうやるの？

議会は3月・6月・9月・12月の年4回。会期は平均して約3日間あり、秘密会以外の会議は、村民はその様子を初日から傍聴することができます。

役場2階に上がり、そのまま奥の扉まで直進。入場後、受付記入表に情報を記入いただきましたら、席に着席いただき傍聴することができます。

傍聴時の厳守事項

マスク着用・ヤジや撮影の禁止
携帯電話や会話などの禁止



キラリ★いぜなっ子 ザ・学生は、本村出身のがんばる学生を紹介するコーナーです。今回のキラリ★いぜなっ子は沖縄県立沖縄工業高等学校に通う皆さんです。

沖縄県立沖縄工業高等学校
(3年生)

名嘉 美利さん
(勢理客)



美利さんは料理を専門的に学びたいと考え、沖縄工業高校に入学します。一方で、得意だった英語を活かした道に進みたいとも考えていたようです。高校進学のために伊是名島から沖縄本島に移り住んできましたが、母親と同居だったため、不安はだいぶ和らいでいました。学校生活では最初はクラスに顔なじみはいなく、人見知りだった美利さんは少し心細い状態でした。しかし、「一緒に「昼食を食べよう」などと声をかけてくれる、温かいクラスメイトに恵まれ、自然と周囲に溶

け込んでいったそうです。勉強面では割とすんなりと順応したようで、食物検定の取得などに向けて忙しい日々を送りました。現在は検定1級取得を目指して勉強しているようです。

卒業後の進路は、小さい時からの夢でもあった英語を活かした仕事をしてみたいと思っています。まずは大学へ進学して、英語を学び自分の方向性を見極めていきたいと話してくれました。後輩たちへのメッセージをお願いしますと「私はピーアールできることが少なく、苦労したところがあるので、中学校の頃から高校や大学への進学を見越して自分磨きをすることをお勧めします。また学校生活を楽しく過ごすためにはやっぱり友達を作ってほしい。会話のキャッチボールを心がければ自

然と友達に恵まれると思います」と話してくれました。

将来は生まれ育った伊是名島に恩返ししたい気持ちを持つているそうです。こういうことができるのか、今はわからないそうですが、これからの人生の中で自分を磨きながら感謝を示すことができればと思っています。

沖縄県立沖縄工業高等学校
(3年生)
神田 恭さん
(勢理客)



幼い時からラジコンを分解して組立てたり、電子機器に触るのが好きだった恭さんは、レーザーなど特殊な機械について学べる沖縄工業高校電子機械科への進

す。

卒業後の進路は就職を希望しています。技術を活かした就職先を見つけてこれから試験を受ける予定です。「人の役に立てる人間になるということが自分の理想像です」と将来の展望を話してくれました。

島の後輩たちへのメッセージは「地域の人たちとコミュニケーションをとっていたほうがいいと思います。僕は島にいる時は三線をずっとやっていて地域の人たちと交流をしていました。今後、友だちづくりや会社の面接などでつながっていく部分があると思います」

将来は島に帰ってき身につけた技術を使って恩返しもできたらとも考えているようです。まずは就職して両親にうれしい報告ができたかと抱負を話してくれました。

議会の動き

令和3年6月～8月

- 6月 9日(水)・議会運営委員会
・令和3年伊是名村議会第2回定例会
(～10日(木))
23日(水)・第52回伊是名村戦没者慰霊祭(議
長・副議長) 慰霊塔
27日(日)・幼・小・中 合同運動会(議長)
7月14日(水)・広報調査特別委員会

- 30日(金)・令和3年第2回臨時会
8月11日(水)・広報調査特別委員会
26日(木)・北部広域市町村圏事務組合第58回
定例会
・令和3年度北部市町村議会議長会
第2回理事会、第2回総会



議長のつぶやき

伊是名村議会議員の宮城です。村議会という堅いイメージがあると思いますが、楽しいエピソードやほんわかするお話もあるんですよ！議員の奮闘ぶりもお伝えできたらと思います。

字諸見から南方を見ると浮かび上がってくる景色がお気に入りです。グスクから連なるチチン岳への稜線がまるで、女神が横たわっているようだと言った幼年期の頃から愛でていた。

平成3年にチチン園(特別養護老人ホーム)が開園した時に風水学的にこの位置なのだと浅学ながら思慮した。

近年施設を充実しショートステイ等も受け入れて、島の高齢者福祉にご尽力しているチチン園理事長兼施設長は、伊礼弘宜さん。「職員募集しております」と会うたびにおっしゃいます。

また、日夜ずっと入所者を見守っている職員の皆様にも感謝！

議長 宮城 安志



チチン園でのレクの様子。円になってバレーボール！息を切らせながら必死に動き回る職員の様子に、入所者からは思わず笑みがこぼれます

編集後記

▶昭和6年に旧役場と小学校が字伊是名地内から移転して今年90年記念。▶表紙の小学校庭ガジュマルは昭和6年に字伊是名茅葺校舎にあったガジュマルの若枝を伐って植えた、赤瓦校舎昭和7年第1回卒業生(大正6年生)の記念樹と記録から確認。その後、木は成長が早く戦前戦後の児童のサンペー遊具の木となり歴史を刻む。平成17年度「おきなわの名木」認定。樹齢90年以上。▶コロナ禍は厳しい自粛生活。必ずや終息と明るい兆しが間近と信じて、皆様健康管理でご自愛下さい。

広報調査特別委員 伊礼正徳

※サンペー遊びとは木登りし、頭にタッチか帽子を取り合う。いつの時代かその名もプレーイに変わっていた。